

緑っ子だより

校訓／教育目標
かしこく やさしく たくましく
豊かな心とたくましさもち
夢に向かって伸びる緑っ子の育成

宇土市立緑川小学校
平成30年6月1日号
文責 谷口育聖

心のきずなを深める月間 ～いじめを許さない学校・学級をめざして～

熊本県は、「熊本県いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止等の施策として、学校・家庭・地域が互いの役割と責任を自覚し、相互に補完し合いながら、地域ぐるみでいじめを許さない学校・学級づくりに取り組む気運を高めるとともに、児童生徒が主体となる取組を学校、家庭及び地域が一体となって支援しています。

本校でも6月を「心のきずなを深める月間～いじめを許さない学校・学級を目指して～」と定め、いじめの未然防止に重点を置いた総合的な対策を推進していきます。

何をするか1

いじめの早期発見・早期対応ができる学校体制づくりを進めます

何をするか2

発達段階や学校環境の変化を踏まえた対応を進めます

何をするか3

すべての子どもが、誰かに相談できる体制づくりを整えます

何をするか4

子どもの豊かな心と、実践力を育てます

何をするか5

教職員の人権感覚を一層向上させること

何をするか6

家庭・地域との連携による取組を一層充実させます

特に、「何をするか4」については、以下の通り取り組んでいきます。

- ① 全校集会でのいじめ問題に関する校長講話
- ② 児童会による「3校合同スローガン」実現に向けた具体的取組
- ③ 児童集会による各種委員会からの呼びかけ及びなかよし宣言確認
- ④ 異学年間交流(全校遊びやなかよしタイム等)の充実
- ⑤ 委員会による児童の人間関係作りを行うための特別な取組
- ⑥ 公開授業参観日における命を大切にするプログラムの授業実践

ご家庭でもこの機会に、子どもさんと学校生活の様子についてさらに会話の場を設けていただきたいと思います。**裏面に「子どものサイン発見チェックリスト」と載せています。**だれもが当てはまる項目があると思います

ます。それが度重なるようであれば、遠慮なく学校へご連絡ください。子どもさんのことでも他の子どもさんのことでもかまいません。未然防止、早期発見が最も大切です。よろしくお願いします。

全校集会でのいじめ問題に関する校長講話より 5月29日〈火〉

「あなたにとって緑川小学校は、楽しいですか？」と聞くと、楽しいとこたえ、「どんなとき楽しいですか？」と聞くと「遊ぶとき、勉強するとき・・・」である一方、「イライラしたり悲しい気持ちになったりするときもある」とこたえます。今月は『心のきずなを深める月間』であり、その趣旨を伝えました。そして「いじめの構造」を示し、「かがいしゃ」「ひがいしゃ」「ぐんしゅう」「ぼうかんしゃ」「ちゅうさいしゃ」という言葉と意味を伝えました。

そして、「もし、いじめにあったらどうしますか？」「もし、いじめをみたらどうしますか？」を問い、考えてもらいました。それぞれの対応を受け止め、最後に、「あなたにとって、緑川小学校は、楽しくわくわくする学校がいいですか、それともイライラして悲しい学校がいいですか？」と投げかけると、「楽しくわくわくする学校」がいいとこたえたので、「そうなるためには、自分のよさに気づくとともに、友だちのよさにも気づくことが第一歩であり大切なことです」と伝え、「この月間を、みなさんと先生と一緒にいじめについて考え、どうすればいじめを解決することができるのか、どうすればみんなが明るく仲良く過ごすことができる学校になるのかをしっかりと考え判断し実行できるきっかけにしましょう」で結びました。



「子どものサイン発見チェックリスト」